

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2007-319275(P2007-319275A)
 【公開日】平成19年12月13日(2007.12.13)
 【年通号数】公開・登録公報2007-048
 【出願番号】特願2006-150699(P2006-150699)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月22日(2009.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域を特別入球口が設けられる第 1 の遊技領域とその他の第 2 の遊技領域とに区画形成する役物と、

前記第 2 の遊技領域に設けられる第 1 の始動口と、

前記第 2 の遊技領域に設けられる第 2 の始動口と、

前記第 1 の遊技領域内への遊技球の進入の確率が高くなるように動作可能な第 1 の可動片と、

前記第 1 の始動口への遊技球の入球の必要条件となる動作を行う第 2 の可動片と、

予め定められた数値範囲内で生成される数である乱数が保持される乱数保持手段と、

前記第 2 の始動口に遊技球が入球されたとき、前記乱数保持手段により保持される乱数に基づいて前記第 2 の可動片の動作契機となる当たりについての当落にかかる抽選処理を行う抽選手段と、

前記抽選手段により前記当たりが当選されることに基づいて前記第 2 の可動片の駆動制御を行うとともに当該駆動制御に応じた前記第 2 の可動片の動作によって入球可能とされた前記第 1 の始動口に遊技球がさらに入球されたとき、前記第 1 の可動片の駆動制御を行う駆動制御手段と、

前記駆動制御手段による前記第 1 の可動片の駆動制御を通じて前記第 1 の遊技領域内に進入した遊技球が前記特別入球口に受け入れられたとき、遊技者にとって有利な特別遊技を行う特別遊技実行手段と、

前記第 1 の始動口への遊技球の入球に基づいて行われる表示演出と、前記第 2 の始動口への遊技球の入球に基づいて行われる表示演出とを切り替えて所定の表示部にて表示する演出制御手段と、

を備える遊技機。

【請求項 2】

前記抽選手段による前記抽選処理の結果には、前記第 2 の可動片が動作するときの動作時間として各々異なる動作時間を示す動作時間情報がそれぞれ対応付けされた複数種の当たりが前記第 2 の可動片の動作契機となる当たりとして含まれ、前記駆動制御手段は、前記第 2 の可動片の駆動制御を行うときは該当する当たりの種類に応じた動作時間だけ前記第 2 の可動片が動作するように前記第 2 の可動片の駆動制御を行う

請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記抽選手段は、前記動作時間情報のうちの短い動作時間が対応付けされている当たりを短当たり、前記動作時間情報のうちの長い動作時間が対応付けされている当たりを長当たりとするとき、前記短当たりが前記長当たりよりも頻繁に当選されるかたちで前記抽選処理を行う

請求項 2 に記載の遊技機。